

病院長のあいさつ

病院長

竹中 洋



大阪医科大学附属病院は高度で安全な医療を地域に供給する理念を掲げた特定機能病院であります。その診療圏は高槻市・茨木市に留まらず、長岡京市や兵庫県の一部に及び、淀川を跨ぎ枚方市近辺も含まれます。本院は昨年新総合棟をオープンし、現在新棟の基準に合わせて既設棟の改修も進めており、外来も含めて平成18年秋には新しい大阪医科大学附属病院がほぼ完成致します。

診療面では従来から進めてきた患者様に分かりやすい診療科制を更に発展させ、外来から入院まで一貫した診療科制を定着させたいと考えております。内科は総合医局が立ち上がり、全ての診療科医師が同じフロア(旧33病棟)で机を並べ、意見交換や意思疎通が容易になって参りました。最終的には患者様のお役に立つと考えています。

今春からは医療改革の流れに沿い地域医療提供体制の整備が具体的に問われることになりました。外来化学療法センターの開設は私達の意志の現れでもあります。また、患者様相談コーナーも病院玄関近くに拡充移転致しました。御承知のように特定機能病院は地域において、高度医療のための人員や設備を備え、安全な医療技術を確認することが求められています。私達はこのような特性を最大限に発揮するために、地域の医療機関の皆様と協力し、患者様本位の医療システムを構築するに専念して参ります。

新任科長のご紹介

このたび、4月1日付で整形外科科長に木下光雄が、6月1日付で婦人科・腫瘍科科長に大道正英が就任いたしました。



整形外科科長 木下 光雄(きのした みつお)

〈専門分野〉足の外科とその関連領域、スポーツ整形外科、関節リウマチ

〈資格〉日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日医健康スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本リウマチ学会専門医、補装具適合判定医(旧厚生省)

〈コメント〉世界保健機構が中心になり、運動器の障害から人々を開放しようとの目的で「運動器の10年世界運動(2000年~2010年)」が世界中の国々で繰り広げられています。しかしながら、日本では高齢化が進み整形外科的な外傷や疾患がむしろ増加しています。さらに、スポーツの隆盛から運動器の外傷や障害を訴えて受診される患者様も少なくありません。

整形外科の守備範囲はとても広いものですが、幸い当科には色々な専門領域で活躍している整形外科専門医が多数います。患者様に安全で質の高い医療を提供させて頂くために、彼ら専門医が十二分に力を発揮できるようコーディネートすることも科長の務めの一つかと心得ております。

整形外科の治療は手術だけではなく、お薬やギプスあるいはコルセットなどの装具によって保存的に治療する方法も数多くあります。運動器の外傷や障害でとてもお困りの患者様がおられましたら当科にご紹介頂けましたら幸いです。患者様にご満足頂けますよう、地域の先生方と連絡を密にしてみたく対応させて頂きたいと思っております。今後とも宜しく御願い申し上げます。

〈略歴〉昭和55年3月大阪医科大学大学院修了

平成18年4月大阪医科大学外科学講座整形外科教授

〈趣味〉音楽鑑賞、ジョギング



婦人科・腫瘍科科長 大道 正英(おおみち まさひで)

〈専門分野〉内分泌腫瘍学、更年期学、周産期学

〈資格〉日本産科婦人科学会認定医、日本婦人科腫瘍学会暫定指導医、日本内分泌学会・代議員、日本生殖内分泌学会・評議員、日本婦人科腫瘍学会員・評議員

〈コメント〉平成18年6月1日より婦人科・腫瘍科の科長

を拝命致しました、大道正英でございます。医療に関して日本が抱える大きな問題は少子化と高齢化です。特に女性の平均寿命は88歳を超え世界一の長寿国です。そこで、教室員のパワーを結集し、不妊・周産期・腫瘍・更年期等の産婦人科学全般をバランス良く診療し、女性の生涯をサポートしていきたいと思っております。具体的には、不妊の精査、ART、ハイリスク妊娠・分娩、子宮頸部がん・子宮内膜がん・卵巣腫瘍・乳腺腫瘍の精査・診断・治療、更年期症状・骨粗鬆症・高コレステロール血症・動脈硬化の精査・診断・治療などを幅広くおこなっております。私どもは、最高水準の丁寧な医療を、患者様個々のニーズに合わせて提供することをモットーにしております。

〈略歴〉昭和59年 3月大阪医科大学医学部卒業

昭和59年 4月大阪大学医学部産科学婦人科学教室入局

平成 2年 7月米国ミシガン大学生理学教室研究員

平成 7年12月大阪大学医学部産科学婦人科学教室 助手

平成11年 4月大阪大学医学部産科学婦人科学教室 学内講師

平成14年 4月山形大学医学部産科学婦人科学教室 講師

平成16年 7月大阪大学医学部産科学婦人科学教室 講師

平成18年 4月16日大阪医科大学医学部産婦人科学教室主任教授

〈趣味〉野球、ゴルフ

外来化学療法センターのご紹介

外来化学療法センター センター長
瀧内 比呂也



大阪医科大学附属病院は、特定機能病院として、また地域の基幹病院として古くから地域のがん治療の中心的役割を担ってきました。2006年4月、これまでの外来点滴室を改編して新たに2号館旧23病棟に計10床の外来化学療法センターを開設いたしました。外来化学療法センターには、がん専門薬剤師やがん治療に精通した看護師を配置、院内で整備が進んでいるオーダリングシステムやクリニカルパスをセンター運営に生かして安全で質の高い抗がん剤治療を患者様にご提供していく予定です。

今回外来化学療法センター開設時における新たな試みとして、レジメン審査委員会によるレジメン審査登録と無菌調剤があげられます。我が国では第三次対がん10ヵ年総合戦略における「がん治療の均てん化」の一環として、日本人に多い15つのがん（胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん）において、標準的治療あるいはガイドラインに沿った治療が強く求められています。これを先取りした形で、消化器内科、消化器外科、一般・乳腺・内分泌外科（乳がんを含む）、呼吸器内科、産科・内分泌科、婦人科・腫瘍科、泌尿器科、放射線科から提出された治療レジメンを審査し、外部組織に開示しても恥ずかしくないレジメンが、オーダリングシステムにセット登録されています。また無菌調剤時には、専門薬剤師による厳しい処方監査が行われ、抗がん剤のオーダーミスや誤投与を回避するシステムを確立いたしました。



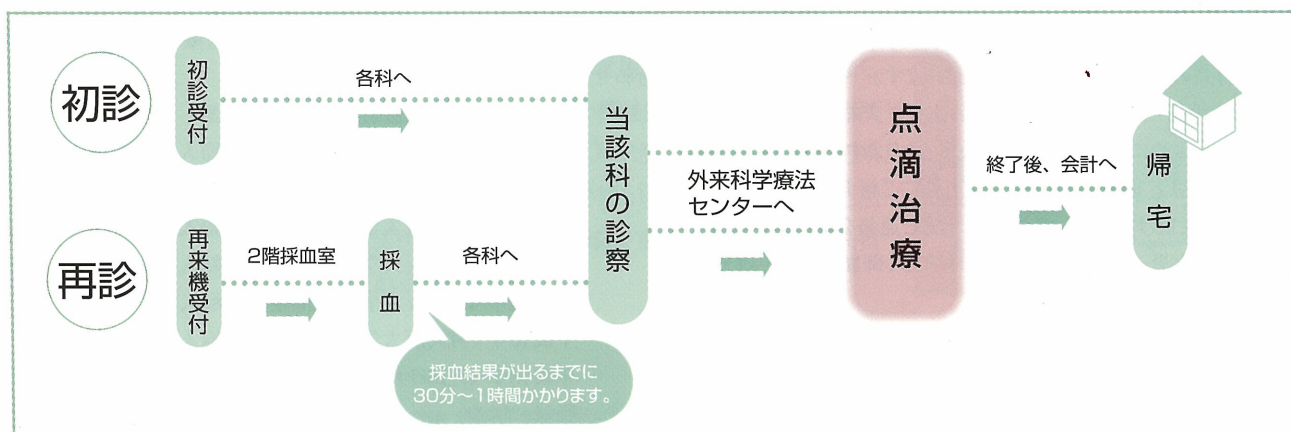
今後患者のQOL向上はもちろんのこと、包括医療評価制度（DPC）の導入による病院経営の変化も後押しして、がん化学療法の外来化はさらに進展することが予想されます。また特定機能病院も地域がん診療連携拠点病院の1つとして、がん治療の指導的な役割を担っていくことが強く求められています。その中で外来化学療法センターの果たす役割は極めて大きなものがあり、将来的には院内連携のみならず地域連携を推進していくための中核組織として発展させていきたいと考えていますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

ご利用に関するご案内

治療時間 月～金曜日／8：00～16：15

《初診患者様》 ご病状にあわせて当該診療科を受診していただき、主治医の指示に従ってください。

《再診患者様》 再来受付終了後、血液検査、診察を済ませてから治療します。



眼科のご案内—病診連携室を利用した初診予約診療—



眼科 科長

池田 恒彦

現在大阪医大の眼科診療体制は、一般眼科はもちろんですが各専門分野での診療の強化に努めています。網膜硝子体、斜視・弱視・神経眼科、緑内障、角膜・前眼部、ぶどう膜炎などの分野で専門外来が整ってきております。難治例に対しては、各グループで協力して疾患の治療に当たるようにしています。中でも網膜疾患では、難治の増殖糖尿病網膜症や増殖硝子体網膜症といった患者様の紹介が大阪府のみでなく全国からあります。専門領域ごとに眼科診療での基幹病院となるべく、診療を行っていく所存です。



受付と待合室

環境面では大きな変化があり、平成17年に建築された新7号棟の3階に外来が、9階に病棟が移転しました。外来では待合室が広くなり、病棟では広く明るい病室で入院できるようになったことで、患者様にとって過ごしやすい環境になりました。ただ、毎日の外来患者数が200人弱、年間患者数が約48,000人、年間手術数が約1,700件と多くの患者様の診療に当たっている現実があり、依然として外来での診察待ち時間が問題点として残っています。



診察室

病診連携室が発足して以来、眼科でも再診の予約診療を開始しています。紹介していただいたあと落ち着いた患者様は逆紹介、再診患者様の絶対数を減少させるべく努めています。3時間ほどだった待ち時間はようやく半分以下になってきたところですが、初診患者様に要する時間で診療時間がおしてしまうのが現状です。特に予約なしの初診患者様が多いと、1日の外来すべてに影響が出てしまいます。地域医療機関の先生におかれましては、できるだけ病診連携室を通して初診患者様の診察予約を取っていただければ幸いです。眼科は紹介数、逆紹介数ともに各診療科の中でも上位に入っており、地域との連携が比較的とれている方であると考えていますが、これからもいっそう密接な関係を築いていきたいと考えています。

また、勉強会として毎週木曜日には興味ある話題提供や特別講義などの「大阪医大オープンカンファレンス」を、春と秋には「大阪医大セミナー」も開催しておりますので、どうぞお越し下さい。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



大阪医大セミナー

大阪医科大学図書館 ご利用の案内

日頃の診療や研究で様々な資料が必要な方は、当館所蔵資料をご利用いただくことができます。ただし、医療従事者の方に限らせていただいております。

ご利用時間

平日 9:00～17:00
第1・3・5土曜日 9:00～13:00

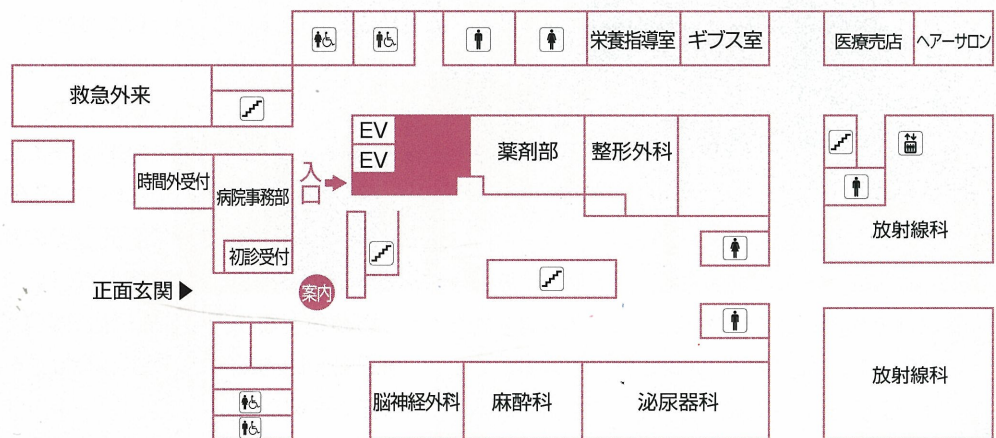
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/lib/index.html>



病院医療相談部・病診連携室移転のお知らせ

4月3日に病院医療相談部・病診連携室が病院外来棟1階に移転しました。



大阪医科大学附属病院ホームページアドレス <http://hospital.osaka-med.ac.jp/>

編集後記

初夏の風も爽やかな季節となりました。大幅な診療報酬改定に伴う一連の騒がしさも収まったことと思います。ご報告が遅くなりましたが、去る4月6日(木)に高槻市立生涯学習センターにおいて高槻市医師会看護専門学校の入学式が挙行され、本院病院医療相談部花房部長が来賓として祝辞を述べさせていただきました。新入学生に対する数々の励ましの言葉とともに、医療人としての心構えについての言葉も随所に配され、心温まる祝辞でした。新入学生は緊張とともに、将来、自分が医療人として従事する姿を思い巡らせていたことと思います。地域医療の担い手として成長することを、医療関係者の一人として心より祈ります。

